



学校だより



令和3年 4月 6日
4月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

新年度の出発にあたって

校長 川島 隆宏

今年の桜は例年より早く花をつけ、新学期は美しい新緑の下でのスタートとなり、本日の始業式には、子どもたちの元気な声が学校中に響き渡っていました。

いよいよ令和3年度の新学期が始まりました。まずは、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。本校では、本年度新たに110名の新1年生を迎え、全校児童640名、24学級でのスタートとなりました。

昨年度は、新型コロナウイルスにより、学校の教育活動も大きな影響を受けましたが、子どもたちの明るさ、尽きることのないエネルギーと保護者・地域の皆様の御協力で、無事に乗り切ることができました。

本年度の教育活動も感染状況を睨みながらの展開になりますが、昨年度の経験を生かしながら、子どもたちの健康と安全を第一に、教職員一同「知恵と工夫」をもって進めていきたいと考えています。



【目指す学校像】

1 活力に満ちた明るい学校

第一小学校の子どもたちや教職員が日々生き生きと活動し、躍動感あふれる明るい学校でありたい。そのためには、子どもたち一人一人のよさや可能性を見いだし、それを発揮し、活かすことができるようにするための教育活動を展開します。

2 子どもたちに夢と希望を抱かせる学校

子どもたち一人一人が夢や希望をもち、それを大切にし、その夢や希望の実現に向けて努力する学校でありたい。そのためには、教職員自らが夢や希望を追い求めるとともに、子どもたちを励まし支える協働体、組織体としての学校の機能を発揮します。

3 教職員の創意と工夫が生きる学校

120年を超える歴史と伝統を受け継ぎ、第一小学校ならではの教育を行う学校でありたい。そのためには、特色ある教育活動やこれまでの研究の蓄積を踏まえ、さらに創意・工夫を重ねていきます。

4 地域、家庭との連携に努め、地域に開かれた学校

新学習指導要領に掲げられている「社会に開かれた教育課程」をめざし、その基となる「地域に根差した教育活動」を展開し、地域の人々が誇りとする学校でありたい。そのためには、家庭や地域等との連携、協力を重視し、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいきます。

今の子どもたちが大人になる頃は、人工知能が発達し、ロボットが活躍する時代になると言われています。時代がどのように変化しようとも、第一小学校では、自らの頭で考え、自らの言葉で表現・伝え、仲間と協力しながら、自らの力で物事を進めることができる子どもたち、仲間の痛みが分かる子どもたち、世の中のために汗をかくことのできる子どもたちを保護者、地域の皆様と育てていきたいと考えます。

4月の生活目標 **すすんであいさつをしよう**

「気持ちのよいあいさつや言葉遣いをしよう」が第一小学校の重点生活目標です。

4月は、自分からすすんで、はっきり元気よくあいさつができるように、心掛けてほしいと思います。また、校内でお客様に会ったときも、自分からあいさつができるように指導していきます。